

第9回丸亀城石垣崩落対策本部会議録

1 開催日時 平成31年4月15日（月）午前9時55分～午前11時

2 開催場所 本館3階「特別会議室」

3 議 事

(1)「チームラボ 光の祭」誘致について（保存活用分科会）

- ・下鴨神社や広島城など全国の史跡等でイルミネーションイベントを展開しており、大規模な動員実績がある。
- ・昨年末に開催された「チームラボ 光の祭 高知城」を市観光協会とともに視察。
- ・高知城では行政（高知県）、広島城では民間（中国放送）が主体で実施しており、主催者によって開催手法は2パターン考えられる。
- ・普段は一般開放している史跡に入場制限をかけ、入場料を徴する行為に関する文化庁との調整のほか、イベントの採算性、石垣復旧工事との兼合い、多数の来場者に対する安全面の確保が課題。

→民間企業等の当てはあるのか。

→行政側の人的動員はどの程度か。

→修復の期間中なので、慎重な判断を要する。

→それぞれの部署で一度持ち帰り検討する。

(2)定点カメラについて（工事分科会）

- ・工事報告書の資料として活用する。
- ・工事経過のPR映像を作成し、ホームページ等で情報発信する。
- ・城内グラウンドの管理・PR施設のモニターで、拡大して観ることが可能。

→この角度からの写真（定期的、全景）が必要なのか。

→ドローンで撮影している画像、映像で代用は利かないのか。

→PR目的であれば、定点記録でなく時系列の記録で十分ではないか。

→再度検討する。

(3)石垣崩落復旧整備事業の中間報告について（工事分科会）

- ・近日中に優先交渉権者である鹿島建設株式会社と基本協定書を締結予定。
- ・崩れた斜面から埋没石垣が出てきており、現状のままではモルタル吹き付けが梅雨前の5月末までに完了できないので、今月中に石垣専門部会等の意見を確認しながら対応を検討する。
- ・次点の優先交渉権者との基本協定についても検討する。

(4)石垣の一時保管場所について（教育部総務課）

- ・ クリントピア丸亀東側の土地を活用する方向で報告していたが、県の中讃保健福祉事務所環境管理室より、当該土地については地盤沈下の恐れがあるため、慎重に対応するよう指示があった。
- ・ 地元に心配をかけない対応が必要と判断し、中止することとした。
- ・ 丸亀城の堀を活用することについて検討したが、ヘドロ対策や造成など費用面等で難しい。
- ・ 以前石垣保管場所として活用できる場所について調査依頼をかけたが、改めて調査するので、公有地のほか私有地も含めて検討をお願いします。

→工期の５年目からは石垣を積む作業に入る予定であるため、保管期間としては今年度から４年間で考えている。

→1,000㎡以上の土地を対象に、お城からの距離や搬送車両の道路幅員に関係なく検討していただきたい。

５ 出席状況

(1) 本部構成者（第３条）

職	氏 名	出欠
市 長	梶 正 治	○
副 市 長	徳 田 善 紀	○
教 育 長	金 丸 眞 明	○
モーターボート 競走事業管理者	大 林 論	×
市 長 公 室 長	横 田 拓 也	○
総 務 部 長	栗 山 佳 子	○
健康福祉部長	宮 本 克 之	○
こども未来部長	石 井 克 範	○
生活環境部長	小 山 隆 史	○
都市整備部長	谷 口 信 夫	○
産業文化部長	山 地 幸 夫	○
ボートレース 事業局次長	矢 野 浩 三	代
教 育 部 長	川 田 良 文	○
消 防 長	田 中 道 久	代
議会事務局長	渡 辺 研 介	○

(2) 関係職員

市長公室職員課長	井 上 孝 敏
総務部財務課長	宮 西 浩 二
ボートレース事業局次長代理	
ボートレース事業局経営課長	向 井 光 平
消防長代理	
消防本部総務課長	浪 指 孝 章
市長公室広聴広報課長	七 座 武 史
産業文化部産業観光課課長	林 裕 司
都市整備部都市計画課石垣復旧工事室長	上 甲 育 司
都市整備部都市計画課石垣復旧工事室	真 鍋 一 生

(3) 事務局

市長公室秘書政策課長	窪 田 徹 也
市長公室秘書政策課副課長	谷 本 智 子
市長公室秘書政策課政策推進担当長	野 本 政 宏
市長公室秘書政策課主査	宇 野 大志郎
教育部総務課長	岸 上 直 美
教育部総務課副課長	吉 野 隆 志
教育部総務課文化財保護室長	東 信 男